

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 千共 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話
03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内藤留幸
編集主筆 竹澤知代志

08年度 教区総会報告

未受洗者配餐巡り、更に深まる対立

1

西中国・大阪・九州・北海・四国

問安使実質拒否で激論

西中国

第57回西中国教区定期総会、五月六日から二日間、山口市の防長苑で開催され、正議員一四〇人中、開会時一二〇人が出席した。冒頭の組織会で、「北村慈郎教師への退任勧告取り下げを求め、受け入れられないときは問安使を受け入れられない。ただし、傍聴は構わない」との常置委員会通知に対して、山北教団総会議長から「問安使受け入れ拒否と理解する」との返答を受理したので、教団問安使を准議員候補としない」との常置委員会見解が報告された。

これに対し、問安使に質問・議論したい人も多い中での実質問安使拒否は、常置委員会の判断に疑問がある。教団問安使の拒否は教区問安使の拒否につながる」との反論が出て、「准議員名簿に教団問安使の枠を設ける」との修正案が提案された。

「土俵の上で議論を戦わすのが西中国教区の伝統だった」昨年も総会前日に結論を出した。常置委員会の在り方に疑義がある「33教団総会後にも拒否したことがあり、常置委員会の結論を支持する」などの議論が開く」と述べた。

夕食後の議長総括報告議案で問安使問題は再開され、「数少ない教団執行部の生の声が聞ける機会を常置委員会が何故奪ったのか」「未受洗者配餐をどう考えているのか」などの意見が続いた。

柴田もゆる議長は「常置委員会の出来事を何事もなかったかの様に受け止めて、問安使を受け入れることは出来なかった。同時に拒否し続けることでいいのかという思いがある。傍聴は、そこに道を残したいという思いからだ。今もってこれが正しかったと断言できないが、問安使を迎えて議論を戦わしたかった。対話の道は続けて欲しい」「教憲教規にないという発言はおかしい」などの意見に対し、柴田議長は「教憲教規を軽んじていいと思っている訳ではなく、教区運営では教



挙手多数で議案は次々と承認された

憲教規に神経を使っている」と答え、採決の結果、挙手多数で議長報告は承認された。

これに関連した「北村慈郎教師に対する教師退任勧告の取り下げを求める件」も当然のことながら、ほぼ同様の論議が展開された。原案支持議員が「苦汁の決断であることが、うまく伝

わるかどうか」と懸念し、反対論を展開した議員が「教区内の溝が深まり、一致でなく分裂に向かう」と発言するなど、重苦しい雰囲気の中、平行線を辿ったまま、挙手多数で可決採択された。

【信徒】鎌田頼子(小郡)、島敬史(宇部緑橋)、土井桂子(廿日市)、島村真知子(広島牛田)、下手從容(周防)、安田浩規(防府)、栗原通(福山東)

【信徒】佐藤成美(高槻)、小豆真人(東梅田)、上地武(大正めぐみ)、大澤星一(西大和)、岡村恒(大阪)、田邊由紀夫(茨木)、軽込昇(茨木春日丘)、市川忠彦(大和キリスト)、似田兼司(千里丘)、石黒悦雄(堺)

主の御心を聴きながら

大阪



鄭然元牧師の司式により聖餐式

第53回大阪教区総会は、五月五〜六日、大阪女学院ヘールチャペルで正議員二八八名中、一九一名(開会時)が出席し開催された。在日大韓基督教教会宣教100周年を覚えて守られた開会礼拝では、在日大韓基督教教会西南地方会会長・全聖三牧師が韓国語と日本語の両方で聖書を朗読した後、在日大韓基督教教会総会長・鄭然元牧師が「主の平安を共にする人々」と題し、説教を行った(通訳は金智一牧師)。説教は過去100年

の歴史を振り返りながら、以下のように結ばれた。「神様の願いは、人種、民族、国家を乗り越え生きる私達が、自分の住んでいる地域とその国の繁栄のために祈ることである。私達は弱い群れであるがこの御言葉に従い、この地と日本のために祈る。教団においても小さな群れのために祈り、協力してほしい。」

その後、鄭牧師の司式により共に聖餐に与り、准式・按手礼式が執り行われた。礼拝後、全聖三牧師が

ら来賓挨拶を受けた。常置委員会報告で向井希夫議長は取り扱い事項の中で「常置委員会は、前期常置委員会が教区総会開会礼拝説教者に関して論議し、採決に至った会議の在り方を反省すると共に、否決された当該教師に謝罪し、その責任と痛みを担い続ける件」を取り上げ、三役が当該教師を訪問し、公式に謝罪をしたと述べた。その後、上記の件をはじめ、聖餐に関する件、北村慈郎教師に対する教師退任勧告の件等

を巡って議場から意見が出されたが、向井議長は「三号議案の精神を大切に、主の御心を聴きながら、これからの教区運営に反映していきたいと答え、議場の承認を得た。」

一日目午後、千葉宣義教師の講演「改訂宗教法人法の現在」に耳を傾けた。

今総会において承認された主な議案は次の通りである。2007年度大阪教区決算承認に関する件、2008年度大阪教区予算案に関する件、(継続「三号議案」

に関する件、「大阪教区互助規定」改正に関する件、「大阪教区規則」変更に関する件、「大阪教区会堂建築費支出金規定」変更に関する件、日本基督教団「日本伝道150年記念行事」が、沖縄教区へも配慮し、より豊かなものとなるよう検討されることを求める件は、時間をかけて討議され、以下のよう修正案が出され可決された。日本基督教団「日本伝道150年記念行事」に琉球伝道163年を加え、沖縄教区へも配慮し、検討されることを求める件。

【教職】伊勢富士夫(天満)、村山盛芳(浪花)、向井希夫(大阪聖和)、小林よし子(箕面)

按手礼の執行方法巡り議論

九州

第58回九州教区総会は、五月六〜七日、九州キリスト教会館を会場に、開会時正議員二四三名中一七五名が出席し開催され、盛沢山の議案が審議された。

教団問安使挨拶では、山北宣久教団議長は、弾劾調とも言える厳しい内容をもった常置委員会からの質問状に対し、「この場で初めて見た」と、予め準備が出来なかったことを断りながら、「北村慈郎教師に対する退任勧告」など三項目について、事柄の経緯、事情、基本的な姿勢と今後の取組について一時間がかりで詳しく説明した。

六項目の改革案が示されたが、特に「按手は司式者のみが行う」と、「議長談話」を按手礼式の中に位置づけ、略…このことを反映させた九州教区按手礼式文を作成する」という点に疑問・反論が相次いだ。二種教職制の問題を内容としている『議長談話』については、按手礼と二種教職制を同じ地平で論じることの是非を巡り大きな議論となった。また按手の様式に関しても、按手の歴史的意味に言及する意見があり、更に「教師を立てるのは教団であって教区ではない」と、常置委員会の提案理由に反論が述べられるなど、教職論にも発展した。

他の議事との兼ね合いもあり、研修会を含め三日間にわたり議論されたが、結果、常置委員会が議案を再検討することとなった。

議長Ⅳ、「聖餐についての自由な協議の場を設定することを教団に求める件」を巡っては、教憲教規は陪餐者を明確に規定しているかどうかで議論があり、「信仰告白が共有できない現状で唯一残る聖餐での一致が失

て教会会議にふさわしい内実を形成するために、以下の三点の課題の回復に努める。1. 特定のグループの不当な介入を排し、会議における組織的な枠組みを回復する。2. 議事法に基づかない恣意的議事運営を改善し、適法な議事運営を回復

する。3. 相互の忍耐に基づいて、自由で充分な議論を回復する。

事実認識を誤っているとの強い反論があったが、賛成多数で可決された。

「群山老会との宣教協約に関する件が可決成立」、総会の中で、第3次宣教協約の調印式が行われた。

次の二つの建議案が可決された。①「同性愛者差別問題」に九州教区として取り組む件。②日本基督教団が2009年に開催の準備をしている「日本伝道一五〇年記念行事」に対して、九州教区としての見解を明らかにし、取り組みを実施する件。

②では、「ベッテルハイムの沖縄伝道」を考慮しないのは合同とらえ直しの観点からも問題ありとする意見が述べられた。

【信徒】川畑馨(佐世保、浅野直人(福岡警固)、伊津見七生子(若松浜ノ町)、多田玲子(中津教会)、東隆義(田川)、千葉昌秋(熊本草葉町)、松山萌子(武蔵ヶ丘、大石隆興(佐賀)、渡邊勝之(宮崎)、熊江雅子(長崎平和記念)、白蓋勉(志布志、植木宣博(小倉日明)

「訴願なるもの」の取扱い巡り議論

北海

第68回北海教区総会は、四月二九、三〇日、札幌教会を会場にして開催された。開会礼拝では、一名の正教師按手と二名の補教師准允が執り行われた。西岡昌一郎教区議長は二種教職制度について教団として一

致をみていない中で、執行であることに触れたうえで執り行った。

教務報告では、昨年度教区総会にて提出された「訴願なるもの」の取扱いを常置委員会に付託した件の報告を巡って約一時間に亘って議論があった。

訴願は、札幌教会が決定した処分対象となる信徒からの不服申し立てである。付託を受けて常置委員会は、訴願取扱いガイドライン策定、「訴願」としての認定、三役による調停、調査委員会設置、委員会報告に基づく当該教区役員会への勧告発行等の手続きを取ったことが報告された。

報告を是として不当な処分撤回を求めるべき、という意見があった一方、訴願内容が本年度の教区総会の約一ヶ月前にはじめて当該教区に開示されたことなど

【教職】佐藤幹雄(岩見沢)、清水和恵(新発寒)、「信徒」相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】小島誠志(松山番町)、野村忠規(松山城東)、黒田道郎(石井)、黒田若雄(須崎、若名弘道(近永)、木村一雄(琴平)、野村和男(高知、寺島謙(新居浜西部、岡本康夫(日和佐)

【信徒】長島恵子(鴨島兄弟)濱田康行(土佐)、堀池良明(須崎)、野田雅子(多度津、赤松一郎(大洲、竹村徳子(高知)、安宅登代子(石井、井原裕子(三島真光、寺岡恭仁子(屋島)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

「正しい聖礼典の執行」について確

四国

第66回四国教区総会は四月二八〜二九日、琴参閣を会場として開催された。出席正議員は一五六名中二三

の取り組みを進める重要性について語られた。

主な議事として、昨年度報告承認、教団総会議員選挙、山北宣久教団議長挨拶

質疑など。

特に昨年度報告では、諸分区や各部、各委員会などいすれにおいても教区互助自立連帯献金推進によって引き続きなされる「祈り合

【教職】小島誠志(松山番町)、野村忠規(松山城東)、黒田道郎(石井)、黒田若雄(須崎、若名弘道(近永)、木村一雄(琴平)、野村和男(高知、寺島謙(新居浜西部、岡本康夫(日和佐)

【信徒】長島恵子(鴨島兄弟)濱田康行(土佐)、堀池良明(須崎)、野田雅子(多度津、赤松一郎(大洲、竹村徳子(高知)、安宅登代子(石井、井原裕子(三島真光、寺岡恭仁子(屋島)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)



准允式、教区の未来を担う人材が

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)

【教職】西岡昌一郎(旭川六条、後宮敬爾(札幌北光、久世そらち(札幌北部、西岡裕芳(月寒)、佐藤幹雄(岩見沢、清水和恵(新発寒、山本光一(教区事務所、斎藤成二(札幌富丘、【信徒】相馬述之(札幌北光、島崎康広(千歳栄光)



皆が手を按ぎ、按手を執行

「先達から受け継ぐ信仰」の主題のもと

年一回の宣教師会議

「二〇〇八年宣教師会議」が、三月二七日(木)から二九日(土)まで、ウェルシテイ湯河原厚生年金会館において、「Hebrews 11: A Tradition of Faith through Many Believers」(先達から受け継ぐ信仰)との主題のもとに開催された。二八名の宣教師の方々および十三名の家族の他、木下宣世(世

界宣教師委員会委員長・中村公一(代々木中部教会牧師)・大塚忍(永山教会牧師)・杉森耀子(全国婦人会連合)・宣教師支援委員会からは立花慎一、計四七名が参加した。この「宣教師会議」は、毎年一回開催されているもので、昨年までは宣教師協力協議会(COC)のもとで開催されていたが、今回より神戸といった宣教師が比較的多い地域を除き、それが困難な状況になつており、宣教師同士が、地理的隔絶を克服し、学びと交わりの時を持つるの



上 退任されるタヒューンご夫妻を囲んで皆で
下 手をつないで礼拝

東京地区原理問題連絡会(東京教区と西東京教区)、関東教区統一協会問題対策委員会、東北教区カルト問題対策特設委員会の合同研修会が三月三日(月)〜四日(火)の両日、福島県南

カルト問題で四教区合同の研修会

の「宣教師会議」だけでなく、この会議の企画は、宣教師の方々が毎年交代で委員を務めて進められているが、今回は、メリベス・ヴオス(遺愛女子高校)、ニコラス・ボーズ(弘前学

院聖愛高校)、エイブラハム・キスト・オカザキ(東京教区南支区)の各氏が担当した。主題に基づいて、小グループや全体会などで親しく充実した話し合いがなされ、最終日の閉会礼拝では一同が聖餐に与つた。また、今回は特に、日本での四〇年間のお働きを終えて米国に帰国される、ロバート・タヒューン(青山学院

女子短期大学)、ヘイゼル・タヒューン(合同メソジストミッション事務局)ご夫妻への感謝と送別の時を持った。各地で宣教の業に真摯に取り組んでおられる宣教師の方々のお話を伺つたことが、宣教師支援委員会の働きの重要性を再確認させられた三日間であった。(立花慎一報)

伝道の前進のために

岸 俊彦

西南支区常任委員会では、過去十年分(一九九七〜二〇〇六年度)の支区教勢を表にしました。伝道するためには実態の把握が重要だからです。結果としてその数字には少々驚かされました。十年間で現住陪餐会員は六、〇三七人から五、五三四人に減、朝の礼拝出席者は三、〇六五人から二、九三九人に減、受洗者九九名から九四名に減(ただし一九九六年度は一六七名、支区四五教会の内礼拝出席者

教区コラム

世田谷の住宅地にある一教会は昨年度解散しました。この事態を打開するためには、支区諸教会が祈りを合わせ主において一致して伝道を進めるほかにないと考えています。支区全体の理解と協力を得て、具体策を一つでも計画実行したいと思っています。(東京教区西南支区長)

厳しい現実ではありますが、支区音楽部は五十年を「賛美の集い」を昨年十二月霊南坂教会を会場に行いました。四百名が一つとなつて主を賛美することができました。また同じ会場で支区新年礼拝が行われ、同じように四百名が集いました。席上献金は中越地震被災教会支援、能登半島地震被災教会支援のために献げることができました。各個教会を超えて信徒、教職が共に集まり、祈り、賛美し、御言葉に聞くことから新しい幻が示されることを願っています。

会等の破壊的カルトで心傷ついた人たちが滞在して心を癒す場所として竹迫の牧師(白河教会)が中心になつて開設したもので、日本では三番目の滞在型として施設である。今回の合同研修会では、統一協会が清平(チョンピョン)修練所で行っている二泊三日と四日間の「修練会」について学んだ。この修練会の模様を写したビデオを観ながら、六回参加した元信者の方から生々しい証言を聞いた。特に、二泊三日の修練会にはスケジュールが決まっている。まず、到着すると受付で「先祖解怨(かいおん式)」として、たとえば一家系当たり一代から七代までの先祖の「解怨」が出来る。とされて七〇万円を献金する。八代以降七代ごとに三万円の献金をし、更に修練会費として三七〇〇〇ウォンを支払う。父方、母方の

消息



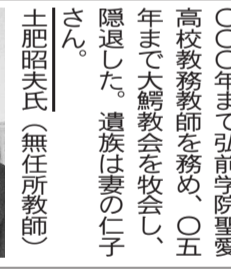
阿部金一氏(無任所教師)

二〇〇六年十一月十三日、逝去。八七歳。島根県に生まれる。一九八六年受允後、出雲教会に赴任。その後九六年から九九年まで秋鹿教会を牧会した。遺族は妻の康子さん。



千葉 望氏(隠退教師)

三月二日、逝去。六八歳。宮城県に生まれる。一九六六年東京神学大学大学院修了後、岡崎教会に赴任。その後仙台広瀬河畔、湯沢各教会牧師、七九年から二〇〇〇年まで弘前学院聖愛高校教務教師を務め、〇五年まで大鰐教会を牧会し、隠退した。遺族は妻の仁子さん。



土肥昭夫氏(無任所教師)

三月三日、逝去。八一歳。兵庫県に生まれる。一九五〇年同志社大学神学部卒業後、霊南坂教会に赴任。その後松山、洛南各教会を牧会し、六四年から九七年まで同志社大学神学教師を務めた。遺族は妻の淳子さん。

事務局報

教師異動	
在外教師	辞外加藤 実
八郎湯	辞主深瀬 忠
岩槻	辞主山添順二
大島元村	辞主大森清一
弦巻	辞主川村輝典
大泉ベル	辞主小倉和三郎
信濃町	辞代池田 伯
中野	辞主小枝勲彦
久我山	辞担尾崎マリ子
浦賀	辞主田中美弥子
横須賀小川町	辞主大久保 照

八幡ぶどうの木	辞主木村量好
京都上桂	辞主江戸久一
浜松元城	辞主満丸愛彦
上諏訪	辞主西川博彬
宮島口	辞主土屋恵子
八幡西	辞主安藤洋介
相知	辞主徳永五郎
十文字平和	辞主福量秀明
浦賀	就代宇野信二郎
浜松元城	就主清水義彦
峡南	辞主鈴木佳子
上諏訪	就主福量秀明
上諏訪	就主鈴木佳子
教師隠退	大森清一、加藤 実

- ◆公募◆
- EMS(南西ドイツ宣教会青年ボランティアプログラム)
- ◎期間/2008年9月より約5ヶ月間
- ◎内容/ドイツの保育所や教会青年部でのボランティア活動
- ◎財政条件/ドイツ側が健康保険、食事・宿泊・小遣いを提供
- ◎参加者本人が飛行機チケット代/ビザ取得費用を負担
- ◎条件/18歳以上30歳以下、英語でのコミュニケーション力、牧師の推薦状
- ◎参加国/日本、ナイジエリア、ガーナ、南アフリカ(何れもEMSパートナー教会)
- ◎募集人数/1名(日本基督教団より)
- ◎問合せ/国際関係委員会 Tel 03-3202-10544
- ◎応募締切/6月30日、後日面接により選考

ミャンマー・大型サイクロン被災者救援募金のお願い

主の御名を賛美致します。

去る5月3日ミャンマーを直撃した大型サイクロン「ナルギス」による被災者救援のために緊急の募金を行います。報じられているように被害は未曾有で、ミャンマー国営ラジオは6日、約2万2500人が死亡したと伝えた。行方不明者は4万1000人に上るといふ。被害地域の95%の家屋が喪失したと伝えられている。交通・通信網が破壊され、犠牲者は南西部エヤワディ管区に集中しており、救援活動が急がれています。

社会委員会はすでに被災者支援活動をはじめたAction by Churches Together (ACT) International の呼びかけに応じて緊急救援募金を行います。ご協力をお願いいたします。

2008年5月9日
日本基督教団社会委員会委員長 張田 眞記

◎募金期間: 2008年12月末
◎目標額: 特に定めず
◎送金先: 加入者名/日本基督教団社会委員会
◎郵便振替: 00150-2-593699 (通信欄に「ミャンマー・サイクロン救援募金」とお書きください)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
日本基督教団社会委員会(電話 03-3202-0544)

宣教師からの声

宣教師の最後の願い

ヘイスティングス・トマス・ジョン
ヘイスティングス・キャロル・ジャンーン
(合衆国長老教会派遣宣教師)

私たちがクリスチャンは自らのアイデンティティーをキリストの上に確立するので自国特有のお伽話を相対化します。お伽話に代わる、国を超えた世界市民としてのアイデンティティーの基礎は、キリストから与えられると信じます。

最後に、日本の諸教会と神学者に問いかけます。米国の諸教会は、聖書の神

米国の場合それは自国利益と神の御心を混同する公民宗教(civil religion)と云えます。9.11以降米国は、自国利益を守るという建前で、破滅的な外交政策を追求してきました。他方日本の場合それは、「日本は等質的な島国」なる神話ではないでしょうか。日本は今、より開かれた社会を目指すべきか、それとも自国利益という建前で「鎖国」に戻るか、という厳しい選択を迫られています。

最後に、日本の諸教会と神学者に問いかけます。米国の諸教会は、聖書の神



去年のクリスマス、家族で、左から、長男ポール、長女ローズ、次女セーラ、女ケーティ、妻キャロルと私

過去三年間で宣教の巡礼で出会った、甲府の山梨YMCA、金沢の北陸学院、西宮の聖和大学、東京の東京神学大学の素晴らしい学生、同僚、諸教会の兄弟姉妹の故に神様に感謝を献げます。七月で日本を去る前に皆さんにお礼申し上げます。いつまでも日本を愛し、教えられた賜物を大切にします。

お別れの言葉は、先ず日本のクリスチャンに向けたのです。世界どの国にも福音とは関連のない大きな物語(Grand narrative)があるもの。

学んだことは、日本の文化・社会が等質的だという考えが、実は有害なお伽話に過ぎぬことです。日本語と地域文化を標準化する政策にも関わらず、皆さんの愛する国は、集団のレベルでも特色のある、豊かな異質性に富んだ地域文化の「コリージュ」して存続してきました。日本の等質性のお伽話は、内外の異質性とよそ者を日本社会の調和への脅威として描き出します。しかし今や日本人が国内と外国の異質性を喜ぶ、又よそ者の積極的な貢献を歓迎する、という態度も大切です。多数の「引きこもり」の存在がそれを証しています。

信愛荘…入荘募集中 隠退教師とその夫人のためのホーム



と聖餐式の司式をお願いします。この時ばかりは外部からの来賓や関係者も多数お招きし、礼拝の後にはホールにて祝会が催されます。

任期中に辞任した前任者の後を受けて、二八年間務めた八尾東教会を辞し、三月、出版局長にリリーフ登板した。就任二カ月の率直な感想は、「四年間の予算決算委員長時代、業務監査を通じて出版局会計に多少の関わりをもっていたが、実務について見ると、思っていたより危機感を感じた。いろいろ噂されていたのとは違い、誤解が多いことがわかった」とのことだった。

出版局長にリリーフ登板



1935年東京生まれ。東神大大学院卒。八尾東教会を経て08年3月出版局長専任。

員がそつと机の上に置いてくれるようになった。出版界全体の低迷に加えて、キリスト教出版物の不振が囁かれ、教団総会、常議員会などで出版局財政の立て直しがいよいよ議論されるようになった。出版局の現状を見ると、下降線にあるが、「信徒の友」は下げ止まりで頑張り、「カール・バルト一日一章」「聖書学用語辞典」など最近のヒット作もあって、半年度では黒字となっている。

有澤新局長は、当面の目標を「さまざまな出版局見直し論がある。まず、その是非を見極めること。次の局長のためにも組織の立て直しに務めること」の二点に置いている。

日本基督教団信愛荘は生涯を伝道のためにささげたくださった隠退教師とその夫人のためのホームです。東京教区が西東京教区の協力を得て運営にあたっています。具体的には同教区から選出された委員により組織された運営委員会が隔月に開かれ、信愛荘の現況や在住の方々に関する詳細は報告を聞き、必要な事務を協議、決定していきます。

また、運営委員会のもとには広報委員会と募金実務委員会があり、「青梅のたより」発行や信愛荘を経営的に支えるための募金活動を行っています。

現在十六名(内二名入院中)の方々が神様の恵みの内に平安な日々を過ごしておられます。

信愛荘の一年の歩みの中で最も大きな喜びの時はクリスマス礼拝とイースター礼拝の日です。通常各教会のクリスマスとイースター礼拝の翌日の月曜日に行われます。外来の講師に説教

「ボクシセンセイガイルノーオインリシナイ」少年が言う。子どもの教会の担当者が感謝会をレストランでしたときである。担当者の子どもも一緒に、年度末の感謝の食事をしたのであった。レストランでもあり、ここは各自がお祈りして食べましようと言ひ、食べ始めたのであった。小学校三年生の少年の指摘で、改めて牧師が声を出してお祈りをする。社会の中で声を出してお祈りすることを憚っているのかな。

牧師の子ども達が小さかった頃、毎日食前の感謝のお祈りをしていた。三人の子ども達が、食事毎に順番でお祈りをする。その習慣が身についており、外で食事をするとともに、誰かがお祈りをする。特に末の子はまた幼稚園児で、お祈りして食べましようと言ひ、食べ始めたのであった。小学校三年生の少年の指摘で、改めて牧師が声を出してお祈りをする。社会の中で声を出してお祈りすることを憚っているのかな。

頃、毎日食前の感謝のお祈りをしていた。三人の子ども達が、食事毎に順番でお祈りをする。その習慣が身についており、外で食事をするとともに、誰かがお祈りをする。特に末の子はまた幼稚園児で、お祈りして食べましようと言ひ、食べ始めたのであった。小学校三年生の少年の指摘で、改めて牧師が声を出してお祈りをする。社会の中で声を出してお祈りすることを憚っているのかな。

神様、お祈りが聞こえますか

あり、それはそれは大きな声で食前の感謝のお祈りをするのである。お祈りは声を出して祈るべきだ。

日本、世界の隅々まで聞こえる祈りをさげたい。

(教団総会書記 鈴木伸治)